

ロジカルな考えと協調性の融合

「理系女子」

「理系男子」「文系女子・男子」より話題にされる言葉で一種のブランドになったとも言える。社会が「理系女子」に注目することはうれしいが、この状況は果たして良いのだろうか。

あるイベント登壇時に、こんな話が出た。「学生の時に理系女子が少なかった。将来への希望や悩みを共有できず、視野を広げる機会もない。そのまま就職し、実はさまざまな選択肢があったことに気がつき後悔した」

私はこの状況を打破

凛としていきる

理系女性の挑戦

理系女子が特別視されない未来へ

するために所属する

「理系女子大生コミュニ

ニティ凛」で何ができ

るかを考え二つのこと

を行った。一つ目は理

系女子限定のイベント

開催。目的は学生同士

および学生と社会人の

交流だ。交流を通じて

人脈の薄さを解消し将

来設計のヒントを得ら

れるような会にした。

二つ目は「凛」とし

て初めて商品企画に踏

み切り、四季で味の違

う日本酒の製造を行っ

た。若い女性に喜ばれ

るようなアイデアを出

し、クラウドファンデ

ィング（インターネット

トを通じた資金調

達の手法）で販売

するという企画で

ある。

商品企画は学生

フリーペーパー

『Girls L

ab』

発行後スタッフと

か企業だけで行いがち

だが感元やマーケティング

会社と対等に連携

して企画を進めていっ

た。この経験を通じ理

系の世界では感じるこ

とが難しい多方面での

視野の広がりを実感し

幸い企画も成功した。

二つに代表される活

動を通じ学んだことが

ある。それは理系女子

個人が自分たちの持

つ特有の強みを確信す

ることができれば、彼

女らはもつと世で活躍

しやすくなるのではな

いかということだ。

私が感じた理系女子

の強みは理系特有の口

ロジカルな考えと女性

が重要視する協調性の

融合だ。この強みを用

い、イベント主催や企

画という一見理系らし

さのないことが好きに

なり、活躍できる余地

が多いにあることを学

生の間に実感できた。

今は理系女子という

流れに乗っていても、

個人が自分の持つ理系

女子の強みを知らない

人が多い。交流を通じ

知見を広げると新しい

流れが生まれるのでは

ないか。ゆくゆくは

「理系女子」という言

葉が特別視されること

無く、世の中に自然と

受け入れられてくる。そ

の時こそ本当に理系女

子が活躍している世の

中だ。この未来を作る

ことが理系女子である

私の使命だと感じる。

企画協力・日本女性

技術者フォーラム（J

WEF）

（火曜日に掲載）

理系女子大生コミ

ュニティ凛 代表

猪爪 舞花



「プロフィール」フェリス学院高校卒業。現在、上智大学理工学部3年。「凛」で多くのイベントを主催。キャリアイベント登壇経験および企業取材経験多数。